

1. 件名：東海再処理施設の廃止措置計画に係る面談
2. 日時：令和6年2月1日（木）13時30分～15時45分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者  
原子力規制庁  
原子力規制部  
審査グループ 研究炉等審査部門  
栗崎企画調査官、真田主任安全審査官、上野管理官補佐、大島原子力規制専門員  
検査グループ 核燃料施設等監視部門  
小澤企画調査官、石井主任監視指導官、百瀬主任監視指導官  
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
安全・核セキュリティ統括本部 安全管理部 マネージャー 他1名  
再処理廃止措置技術開発センター 廃止措置推進室 室長 他7名
5. 自動文字起こし結果  
別紙のとおり  
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
6. 配付資料  
資料1 廃止措置段階における放射性廃棄物の放出管理目標値の見直し  
資料2 系統除染の全体概念と工程洗浄終了後に先行して系統除染を開始する4つの施設における系統除染計画

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	それでは 10 日最初の面談を始めますのでよろしくをお願いします。
0:00:05	まず初めに、河津ほかの処理状況について説明をお願いします。
0:00:13	原告の森川です。ちょっとそれでPEEK関係と、進捗状況の方について口頭で報告させていただきます。まずTAFの状況です。
0:00:23	両型マニピュレーターのOM121 番、こちらの方については旋回台とカメラの不調ですねこれについて、
0:00:32	去年の 12 月 15 日に、全開大を固化セル課長先生に搬出しまして 12 月の 18 日から、助成制度で曜日別に基づきまして、
0:00:44	人出により詳細点検及び請議を整備を実施しているところです。
0:00:49	旋回操作の不具合については、小口径のコネクタ
0:00:56	そちらの接触不良の可能性が高く、コネクタの接続部分の兆し確認、これによって、
0:01:03	前回同駆動部の大府導通不良があった箇所ですね、こちらについてドウツウが確認できている状況です。
0:01:12	ITBカメラについては、この基盤の故障の可能性が高く複数の構成基板の交換を実施しているところです。
0:01:21	またはしその旋回台のケーブル配線等の、今詳細の点検等も並行して実施している状況です。
0:01:29	こちらも順調に点検整備も進んでいる状況です。
0:01:34	また大瀬の廃棄物の解体遠隔解体については、1 月 9 日から通りですね、こちらの遠隔解体に着手しているところでございます。
0:01:47	こちらは順調に今進んでるところです。
0:01:50	方これと並行して実施しております公舎性固体技術こちらTVFから 2 ハウスへの払い出しということで、
0:02:00	行っておりますが輸送のカスクですねがスナバ 1Aというものがありますがこちらの方の、
0:02:08	跳びの開閉扉の作動不良というのが、12 月 19 日号に発生して、
0:02:15	廃棄物、孔食対決の廃止作業を一時中断今してるところです。
0:02:22	原因についてはこの間扉ですね、本体のワイドを密閉するインフレートシールというのがありましてこちらの噛み込みということで推定しております、
0:02:33	現在その点検とかFamiPay時の交換作業を進めているところでございます。
0:02:38	これの処置が終わり次第、黄色廃棄物のTVFからの発生の搬出は再開する見通しです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:47	引き続き安全第1点検とか作業も進めていっているところでございます。
0:02:53	続きまして3号の運転状況確認試験につきましては、こちらの方12月20日にどれアウト、窓ガラスを全量抜き出して炉内の方05、
0:03:04	1月9日から10日にかけて容量内部の観察を実施しております。
0:03:12	米内のガラスを権利ほぼ全量抜き出されておまして、炉底部の一番底安野図ですねそこが確認できてる状況で、ほぼ綺麗に全部抜け出されてるという状況です。
0:03:27	また放電が、とか電極ですね、こちらの表面に本ガラスが薄く付着する程度で、
0:03:34	これの健全性についても問題ないというところを確認しております。
0:03:39	現在2月中の面談を目途に、試験データの評価ですね実施しているところでございます。
0:03:48	最後光化学固化処理計画の見直しについてです。
0:03:54	こちらは、保全課の会合でコメントる遅延リスク安全のリスクですね。これらに加えて4号炉の政策。
0:04:03	に向けたサプライチェーンの確保とか技術者の括弧。
0:04:07	こういうのにつきましても設備の保全以外の項目についても、総合的に整理を行っているところでございます。
0:04:15	これについては2月中の面談で、説明の方を開始したいというふうに考えてます。
0:04:21	進捗状況は以上となります。
0:04:25	はいありがとうございました。
0:04:28	首長側から確認等あればお願いします。
0:04:34	角管部門の小澤ですけれどもよろしいでしょうか。お願いします。
0:04:39	何フリーターの、221側の巡回操作不調とITVカメラの映像不調について、
0:04:51	会合の方で、要因分析図を示していただいて亀田部長については示していただいてですね、それに基づいた説明っていうのは今可能ですかね。
0:05:04	どこまで確認してっていうところは、
0:05:10	当初からですねちょっと今手元にその原因分析図が持ってきてないのでちょっとそれで説明ちょっと今はできないので、次回以降ちょっとこの、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:21	資料に基づいて少し説明の方をしたいと思います。以上です。わかりました。そうしましたら次回で結構ですので、いろいろ席図に基づいてご説明をお願いします。
0:05:34	江藤会議の時は、カメラ不調のよう分析図が入っていましたけれども、1000回操作不調の要因分析図については、
0:05:44	追加で入れた上でご説明いただくということになるんですかね。
0:05:50	校章候補の想定です両方の面積率に基づいて傾斜結果等について次回会合でそれに基づいて説明したいというふうに考えております。以上です。
0:06:00	はいわかりましたじゃ運営等会議前の面談です、来週以降の準備できたところでご説明いただければと思います。お願いします。はい、承知しました。
0:06:28	よろしいでしょうか。はい。
0:06:32	引き続いて
0:06:35	工程洗浄の進捗について説明をお願いします。
0:06:38	はい。経常機構の仲川です。それでは、先週1月20日の問題以降の状況ということでご説明いたします。
0:06:47	先週、
0:06:49	沼津詰めに伴いまして
0:06:53	ペーパーテストを行いまして前者の問題におきましては、大庄の処理を開始再開したということをお話したと思います。村井植木の粉末化場所につきましてはその後1月23日にはすべて終了しております。
0:07:08	土砂等分解しての内部への取り出し作業を実施しまして、それも確実1月31日には終了しております。
0:07:16	現在は、不安要因は掴めた機器を洗浄を行っているところです。
0:07:22	今週中には機器の洗浄も終わる予定で、啓発の予定で終わる予定で、来週月曜日には、取り出したウラン粉末を所定の貯蔵場に持ってきますので、その運搬を貯蔵し、工程洗浄に係るすべてののを、
0:07:36	性状を終わりました、工程洗浄に関わるすべての操作が多い工程線量が、来週早々を完了する予定になっております。来週火曜日、2月6日には、工程洗浄完了した旨、
0:07:49	ホームページに公開するとともに関係各所にお知らせする予定となっております。
0:07:53	質疑安全率で残りの操作を実施していきたいと思います。報告は以上となります。
0:08:01	ありがとうございます。規制庁側から確認等あればお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:16	よろしければ、それでは資料1で、ホシサモ見直しについて、説明をお願いします。
0:08:26	原子力機構の都築です。今日は廃止措置段階における放射性廃棄物の放出管理目標値の見直しについて説明させていただきます。
0:08:41	まず前回の面談を求めておきまして、放出管理目標値の設定に係る経緯について説明させていただきます。
0:08:47	最初に事業指定申請書では最初の4.3年間に110体処理に対する本市の基準を設定したりしており、うちの放出の基準の値で公衆被ばく線量評価を行っております。
0:08:58	平成30年9月13日年間の廃止措置計画内では、個別の基準及び本市の法律管理目標値について、この黄色の方に拡大で示しております記載がございます。
0:09:10	まず1点目、会社段階における放射性廃棄物の本市管理にあたっては法律の基準、開催計画に定める1年間の最大排出量等を定め、挨拶の進捗に応じて適宜これを見直すことと、2点目。
0:09:23	本市の基準は、まずは工程洗浄が終了した段階を定め、廃措置計画の変更を行うこと。3点目。放出の基準を定めるほぼ当面の放出管理として、クリプトン85、トリチウムについては、
0:09:36	本施設等から放出管理目標値を定め、これを再処理施設の運転で管理する、4点目、公衆被ばくする公衆被ばく評価については、再処理事業指定申請書の被ばく評価時に影響がない旨を記載しております。
0:09:50	こちらのこの2点以上払いを踏まえまして、会社計画認可後の保安規定では、再処理運転時の年間放出量の制限、制限値と、二つ計画新しく全核種追加しておりますクリプトン85。
0:10:02	トリチウムは鹿野谷内の両方でバッチ管理を行っております。
0:10:06	今回、工程洗浄の終了に伴いまして、効率管理目標値を見直して、グループとトリチウム以外の核種につきましても設定として、設定し保安規定で管理いたします。また見直した放出管理目標値に対して、公衆被ばく線量評価を実施、実施し、将来を定められた線量限度を十分下回ることを示します。
0:10:28	次は4ページ、4ページ目ですね、先ほどの3ページの3ページの枠内で記載されております対策計画の半分を学内で示しております。
0:10:39	今回見直す方式の用地を三原起点は規定につなげて管理する、することと、工程洗浄に管理する廃棄等の排風な記載を追加資料にここでは見直します。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:57	現在の廃止措置計画、計画兼計画書啓文社検討作業 1.7、放射性廃棄物の本質管理につきましては、クリープ等の管理した状態での放出や、工程洗浄に伴う放出挙動は使用済み燃料の処理に伴う放出量と類似しており、放出量の基本大きいことから、方針の基準を、
0:11:15	まずは工程戦略が終了した段階のため廃止措置計画の変更を行うと。
0:11:20	飛散があったため、グループ等の管理放出、工程洗浄に係る被災について削除をいたします。
0:11:26	また、別紙 3 の 13 にそれぞれ、放射性気体廃棄物、放射性気体廃棄物の放出管理目標値の設定方法を記載してをしているため、放出管理を表し対象学習等の衛生設定方法につきまして記載し、
0:11:40	記載いたします。またパンケーキ核種を管理対象外とする旨を記載するようにまわします。
0:11:47	続きまして、2 点は講師 2 点目は公衆被ばくについての記載をしております。
0:11:55	再処理事業指定申請書に記載しております。したしている公衆被ばく評価に影響が重い。
0:12:01	ないことを記載したわけですが、ここから、今の現在の記載では公衆被ばく線量評価をしておりますで、今回は本質管理目標値を見直すことに伴う公衆被ばく評価を行う、行う結果を記載いたします。
0:12:15	また別紙 3、3-3 で評価をお示しいたします。その際に、資料直接線スカイシャインにつきましては気体廃棄物及び液体廃棄物の放出管理目標値の見直しに伴う見直しの影響を受けませんが、
0:12:29	公衆被ばく線量評価の合算値を示すために、貯蔵状況等を考慮した評価を行います。
0:12:40	で、7 ページで今回見ました北井廃棄物の年間保守管理目標値を、この黄色の枠内で示しております。
0:12:48	比較のために再処理事業指定申請書に記載の年間放出量と措置計画認可後の栗原 85 トリチウム 1 年間の工事管理目標値を行わ日に提示しております。
0:12:59	今回の見直しでは大変未着手管理対象外とするため、一番右の第 2、各社の関係を示しております。で、公衆被ばく線量評価実施のために公衆被ばく線量評価で使用する核種を外科治療二つ目の二つ目の表で示しております。
0:13:18	今回ました年間の方式の表示の考え方や算出方法につきましては後程説明いたします。8 ページにですね、各液体廃棄物と同様に、1 回廃棄物の年間用地を大きくて示しております。樋川郷様です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:39	続きまして9ページですね、ちょっと先ほど説明いたしました年間放出管理の配置をして思います上で、この考え方について説明させていただきます。
0:13:49	まず1点目です。最初に運転停止後15年経過しておりますことから、関係短半減期核種については検出の限界等ある放出を考えられないために、身体障害といたします。
0:14:01	続きまして、現場です。貯蔵場の検討上的な法律、青木処理容量はガラス固化、LWTFの稼働時の負担廃棄物液体廃棄物の処理方法につきましては、再処理事業指定申請書の変更と同様となっております。
0:14:16	系統除染終了までの気体廃棄物、液体廃棄物の処理方法につきましても、再処理事業指定申請書と同様ということを考慮した上で、設計いたします。
0:14:27	第3点目です。
0:14:29	最初にして再処理施設における保安規定の審査基準等で、退出管理目標値という用語を使用しておりますことから、放出の基準や、分解された8両を本日回答表示という後に統一いたします。
0:14:41	続きまして10ページの図となっております。
0:14:45	4点でトリチウムに関しましては、餃子の方近い目標値ですが、ちょうど漁業管理上の経常的損失がTVFにおけるガラス固化処理及びLWTFの壁を考慮した上で設定されておりますため、今回は、
0:15:00	現在の保守管理目標値から今回は変更はいたしません。
0:15:05	5点目、カバー工程については後程別途説明いたします。6点目です。
0:15:13	金本以外の核種につきましては、再処理運転は終了したことから本日実績を考慮して、周辺監視区域外の濃度量と以下で、廃棄等または法律管からの放出管理を行うことを基本とし、
0:15:25	松川宮地を設定いたします。ただ周辺監視区域外の濃度限度から算出した年間放出管理目標値等が、
0:15:33	最初にやってももちろん年間こちら上回ると、評価された場合は、ALARAの観点から、県立病院と濃度との関係を踏まえて、周辺監視、中央監視区域外の濃度限度の10分の1以下で放出管理を行うこととし、放出管理目標値を設定いたします。
0:15:52	で、41ページ目お願いします。以上の放出管理目標値見直しの考え方に沿って、見直した気体廃棄物の放出管理目標値の考え方について、各社ごとに説明いたします。
0:16:06	まずクリプトン85につきましては、トレンドに排気石垣とかの排風量を乗じて算出いたしております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:14	トリチウムに関しましては先ほど説明した通り、現在の保守管理目標値から変更はいたしません。カーボンフォーティーンにつきましては、Short別途説明いたします。
0:16:25	429 に関しましては、発電式がほとんどないことから、429 の濃度限度額の 10 分の 1 のあたりに、四半期等の配布量として算出しております。
0:16:37	お酌列島 85 トリチウムカーボンフォーティーン 429 の M 核種以外で、保安規定濃度を管理する核種につきましては、公衆被ばく線量評価で使用するために設定した年間放置量となっておりますので、こちらについてご説明させていただきます。
0:16:53	まず、ある無線放置しない核種につきましては、
0:16:56	放出実績がないことから、再処理事業指定申請書の評価、評価上、比較的半減期が長く、精度が多い首藤島 90 と 1437 を対象としております。
0:17:08	首藤チーム 90 と 1137 のうち 9 中が業務上問題がより小さい質問チームの値の 10 分の 1 の第 2 週あき投函配布料乗じて算出しております。
0:17:22	破碎物質就学支援チームに関しましては、こちらの実績がほとんどないことから、プルトニウムの $\alpha$ 線放出核種の回りアンドの値に注文等の配布を乗じて算出したいといたしております。
0:17:34	続きまして、12 ページのグラフについて、こちら参考としましてですが、こちらには、対象核種の平成 18 年から令和 4 年度までの放出実績というところが見直した放出管理目標値を、
0:17:48	この点線で示しております。
0:17:56	3 ページ目で先ほど説明を飛ばしましたがウォーキングの保守管理の公表値ってお考え方について説明させていただきます。どうぞ、どうぞ。
0:18:06	館野先生、清さんにつきましては、年間 210 た処理場の候補地の年間こちら 5 分間は資料が $5.1 \times 10^{-30}$ より管理部間であるために、
0:18:16	0 関処理、処理が 1140 トンでこれを比をとって、 $2.7 \times 10^{-42} \text{Bq}$ と算出いたしております。
0:18:25	従業員の再処理施設の存在量は、%ホシの先生量から平成 3 年度以降の話でシリンジで見てあげる時の $42 \times 90$ と想定しております。
0:18:37	管法定再処理施設の存在量が、LWTF 稼働予定の十年間で全量放出すると想定したそうでした上で、下部法定の放置加入公表値を、
0:18:47	1 点荷重が 32 度来ると設定しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:54	続きまして 14 ページなんです。他方司会目標値見直しの考え方に沿って設定した液体廃棄物の、本市は目標値の考え方について核種ごとに説明させていただきます。
0:19:05	担当チームに関しては先ほどご説明した通り、現在持ち帰りお話から変更はいたしません。他の核種、ストロンチウム 90、セシウム 137、449、あくる多量の $\alpha$ 線放出核種につきましては、ほとんど畑山ホシでしかない。
0:19:22	30135 名に関しましては分析がないことから、それぞれの核種の濃度の値に放出量を乗じて算出したしております。
0:19:35	で、15 ページ目の 3-と同様に、参考として、対象核種、平成 18 年から令和 4 年度までの放出実績と、
0:19:46	横が点線で、今回の指定もおります。ですから目標値を示しております。
0:19:53	続きまして 16 ページ目をお願いします。16 ページのですね、効果を見ます。保守管理目標値に対して実施する公衆被ばく線量評価を、
0:20:03	法令に定められた線量限度を十分下回ることをし、示すことは福祉目的として実施いたします。
0:20:10	工程洗浄終了に伴う放出管理目標値の見直しにおける平常時の被ばく線量評価を、再処理事業指定申請書の添付書類のなお参考に評価いたします。
0:20:20	再処理事業指定申請書の天端までは、基幹廃棄物、液体廃棄物、直接整備及びスカイシャイン線起因する公衆被ばく線量評価について記載しております。それぞれの評価※
0:20:32	後程説明いたします。
0:20:34	法施行の目標値の設定見直しに伴って、添付書類というものの記載の、計 7 項目について評価を実施いたします。
0:20:46	次のページに、先ほど示したポイントについてのイメージ図を参考に載せております。
0:20:53	いただきました 18 ページ目です。神崎部人権する公衆被ばく線量評価 4 項目の評価内容について、説明いたします。まず 1 項目め。
0:21:05	放射性物質の放射性雲からの外部被ばくにつきましては、排気塔から放出されるグループと 85 度の時計三振クリプトン 85 から放出される $\gamma$ 線及び $\beta$ 線による外部被ばく線量を評価いたしております。
0:21:17	2 点目、放射性物質の吸入摂取による内部被ばくに関しましては、深津等から放出される各種の空气中濃度を計算し、1 年間の呼吸による接

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	種に実効線量係数を乗じ、乗じることによって内部被ばく線量を評価いたしております。
0:21:33	3点目ですね。
0:21:35	地表に沈着する放射性物質による外部被ばくとこちらが、大気等から放出される核種の空気中濃度から地表インテグする核種の濃度を計算しまして、実効線量への換算係数を乗じることによって、外部被ばく線量を評価いたしております。4点目。
0:21:52	農畜産物摂取が内部被ばくに関しましては、
0:21:55	半島から放出される核種よく機能同ケース、空気濃度の計算から、農畜産物へ移行する核種の濃度を、濃度に1年間の摂取量と実効線量係数を乗じることによって、内部被ばく線量を評価いたしております。
0:22:12	90ページ、19ページのですね、機械廃棄物に起因する公衆被ばく線量評価時の実効線量、実効線量に関わる深さ方法につきまして、記載していた。
0:22:24	調査されます。これに関しては事業指定と同様となっております。
0:22:29	で、青くなり参考に、参考として被ばく経路の合算方法、各種学校の回答について記載していたしております。
0:22:38	続きまして20ページ目ですね。
0:22:41	喜多大木別の公衆被ばく線量評価の評価条件に関して、気象データと計画配置等からの排风量につきましては、再処理事業指定申請書添付書類等から変更いたしております。
0:22:52	まず気象のオペレーターにつきましては、事業指定申請書令和、平成8年度観測結果を使用しておりましたが、今回平成24年から令和5年度の気象データの棄却検定を行いました。
0:23:05	その中から非常にねらいとした中で最初の年である資料は、令和2年度の気象データを採用し、採用した上で評価いたしております。
0:23:15	また、隔壁等からの排気不良に関しましては、最終猟犬時はセンター8日以上が支配的になりましたが、工程洗浄後は点検時等の放出の影響がそういった的に増加すると考えられますので、定検時等の排気容量を考慮して、定期的な電気設備の点検を伴う建屋セル排風機の実績等を踏まえて配布。
0:23:34	踏まえた給料で評価いたしております。
0:23:37	第1補助等に関しましては、LWTFが稼働開始前のため、今後のために、エルダーLWTF稼働開始毎と稼働開始後の廃棄不良に対する二つの評価を実施いたします。大変波食書き等に関しましては、RETFの廃棄不良を減産した場合で設定いたしております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:59	引き続きまして 21 ページに、液体廃棄物全件する公衆被ばく線量評価二つの項目の評価内容について説明いたします。まず 1 点目。
0:24:09	海産物に移行する排水中の放射性物質の摂取による内部被ばくに関しましては、後者の主幹から放出される核種の海水中濃度から再三物エコーする核種の濃度を計算して 1 年間の摂取量と実効線量係数を乗じることによって、内部被ばく線量を評価いたしております。
0:24:27	2 年目改正時の放射性物の外部被ばくに関しましては、5 月から放出される核種の海水中濃度から、甲斐伴佐野両 5 回目、海水中及び選定の学習センター委員の学習の濃度を計算し、それぞれの火山検査所で売却外部被ばくを評価しております。
0:24:45	続きまして 21 ページです。
0:24:50	絶対水の公衆被ばく線量評価の評価条件で、核種の放出割合に依存するパラメータに関しましては、再処理事業指定申請書添付書類等から変更いたしております。
0:25:00	採取事業指定申請書の液体廃棄物の公衆被ばく線量評価では、一部放出核種の割合を考慮した平均値を用いております。
0:25:09	今後も物から目標値の変更を考慮した上で、タイガースの全件数ですとか、医療の実効性の計算に用いる $\beta$ 線平均エネルギーなどは、各種核種ごとの評価といたします。
0:25:23	直接線スカイシャイン線による公衆被ばく線量、公衆被ばく線量評価項目である放射性廃棄物の保管廃棄施設等からの $\gamma$ 線外部被ばくに関しましては、
0:25:35	産業部関係の副長を、
0:25:38	8000 現状としておりまして生命線スペクトルを設定いたします。遮へい材はシェル壁、建屋が建屋が壁、建屋外壁等のコンクリートとして、
0:25:50	県政各積分法をもちまして外部被ばく線量を評価いたしております。
0:25:59	23 ページです。ただ直接線スカイシャイン線につきましては河内管理目標値の見直しの影響を受けませんが、小中学診療科が参事を示すために実施いたしております。
0:26:12	評価対象計算方法計算モデル等につきましては再処理事業指定申請書と同様となっております。ただ、線源スペクトルに関しましては、現状に合わせて見直しております。
0:26:23	三町挙げました線源スペクトルについて示しております。宣言カードにつきましては、再処理事業所、事業指定申請書と同様となっておりますが、高放射性廃液挙動貯蔵の貯蔵業制限等を考慮して評価いたしております。ありがとうございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:41	続きまして 24 ページの 1、こちらの表に示しておりますのは、直接線スライシャインの評価対象施設と新スペックとの関係を示しております。
0:26:51	施設の説明の※1 続いている施設に関しましては今後、貯蔵量の増設が増加がない施設となっております。※2 の※にまじっております新設施設に関しましては、耐震上の液状整理を実施いたしております。
0:27:10	25 ページ目ですね。
0:27:13	こちらに、工程洗浄の入荷方式の表示等の見直しに反対する平常時の公衆被ばく線量評価の結果を、一番右の赤字、赤字で示しております。
0:27:24	保育所の放出量を減らした評価となっておりますため、全体的に再処理事業指定し、事前申請者の評価結果の値から減じておることがわかると思います。
0:27:34	各被ばく経路の合算値の結果に関しましては事業指定の値から約 1 桁程度下がっておりますっていうイメージ。
0:27:42	江尻部長のページに、それぞれの被ばく経路の評価、評価と評価してを参考に載せて示しております。以上で説明を終わらせていただきます。ありがとうございます。
0:27:59	お願いします。
0:28:09	です。主要 7 ページ目を、
0:28:16	表で、現状の排水計画の対象の核種が示されて、その隣に、
0:28:28	凝っ今後変更する。
0:28:32	管理目標値の値が示されて、
0:28:35	これでその核種が追加になってるっていう見方をしている、いいのかどうかなんですけど。
0:28:43	その核種が、
0:28:46	その水追加する理由っていうのがちょっとわからなかった。JA志水でございます。まずですね、はい措置計画という観点では追加をされています。
0:29:01	ですけども、もともと最終事業指定申請料が引きでございます、再処理事業指定申請書に基づいて、まず現状保安規定でも管理している、その全額です。
0:29:14	すいません技術ナカバヤシ実質的に、ここの図の読み方なんですけれども横バーは、左と同じ値を有していますよね。
0:29:24	違います。本規程ですね。だから、実質的な管理放出管理という意味では、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:31	今もうこの上書きし、廃止措置計画で上書きしたクリープとトリチウム以外は、はい。事業指定申請書のあたりで、保安管理上の放出確認をして、
0:29:44	運用している。
0:29:46	だから9増えてはないです。各種の各社の数としては、JA志水の数としては、事業指定に書いてある各種から、
0:29:57	川又川名。
0:30:00	ここはこれはよろしい。
0:30:03	いや現状の方。
0:30:04	現状は本規程はこの再処理事業指定申請書の値と、
0:30:09	平成30年に認可をいただきました、河内管理目標値の両方が記載されています。
0:30:17	なので、例えばクリプトン85ですと、これ、大きな点はもう全部有り得ないんですけども、8.9917条を、
0:30:24	守ると書いてあるプラス、2.09、10のマイナス6乗プラス6条の大津管理目標値を守ると、そういうふうに、二重の書き方が記載してあるというのが現状でございます。当面の間ですね。
0:30:36	こういう面に目標値をくった管理工数をするときに、その1名当たり守るという意味もございましてですね、二つ記載してございます。
0:30:46	扇状弱の空港の看護師でありましたので、この辺の二重の管理といいますか、そういうことも今後必要なくなりますので、最初事業指定申請書に書いてある各種に対して、
0:30:57	すべて今回の廃止措置計画で、法律管理目標値を設定しました。
0:31:02	そういうような考えになってございます。
0:31:11	そうすと、社長がですけどソフト合わせて、
0:31:14	私は変わってないっていう、だんだん半減期核種については、対象外にするけど、はい。
0:31:21	変わってないっていうことで意味でございます。事業指定申請書に書いてあるかと。
0:31:28	そのダウンタウン達を除くという部分でございますけれども、博士としては変わっていない。
0:31:33	ていうかすべての活動を今後管理しているということでございますが、今の保安規定と、今後、変えようとしてる本規制では過不足は変わらないという、パターン2から、JA清水でございます丹下核種がなくなるって以外は、基本と数値数値が変わっておりますけど、はい、わかりました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:15	特になければちょっと話があったんですけど、規制庁さん、私はこの話は多分その論点はないと思ってるんですよ。難点がないと思ってる、論点があるとすると、どっちかっていう多分うちの問題になって、
0:32:29	多分そのファクト正確に掴むって話だと思うんですね。というのはどうということかっていうと、その、
0:32:40	運転時に、運転段階の時にどういうその、
0:32:47	事業姿勢水性においてどういう考え方で年間奉仕するか定められていてその廃止措置段階の時に、当面の措置としてこういう対応があって、
0:33:00	今回こうなった。
0:33:02	ていうのが、ちゃんとFAXを正確に掴んで、もう説明できることのみが論点だと思ってやり方浅沼みたいな、その事業者と同じアプローチをとってるってものについては、
0:33:18	いろんな内部その事業指定Head、
0:33:21	違う部分っていうのはまさにその、
0:33:24	パッと正確に掴む一環で、そのロジックっていうのが適切なのか、っていうのがちゃんと説明できますかっていうことだけだと思ってます。
0:33:35	計算のやり方そのものに異論があるとか、もうなくてそこに異論があったらもう全部原子力発電所倒れますんで。そう。それ共通してるかってそう。だからそこでちょっと確認したかったんですけどね
0:33:49	それは、
0:33:53	段階は、もう普通に使用済み燃料かもおられて最初いたしまして、
0:34:00	ということなので、
0:34:02	例えばね本体管半減期のやつが、
0:34:09	ちょうどきますと、いうのはこれは
0:34:13	例えば何ていうかな、右下の7ページ目のスライド。
0:34:18	20 ページの7ページ目のスライドで例えば
0:34:22	別府新野みたいなのは、
0:34:25	営業姿勢の時には入れてるんだけど今回対象外だよ。これ、要はそのルテニウムみたいなターン、半減期短いんだけど、燃料をキック再処理してる時は塗ってみえる出るよねとそれ放出するようで。
0:34:40	それが効いてくるから、それは、
0:34:45	ちゃんと、
0:34:47	年間放出量として評価しといた方がいいよね。
0:34:53	ていうことで理解してるんですけど、要するにそのた半減期核種だからそうもう入れなくていいよねっていうロジックが成立するんだとすると、事

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	業指定の時にもいらないよねって話なんだけど、運転段階で人事を処理してた半減期のものも、
0:35:09	要するに、
0:35:11	多分元気核種を処理して、
0:35:14	今、
0:35:15	今現時点でそのなぜた半減期核種の対象外にしていいかっていうと、
0:35:20	こっから先は詳しく訳わかんないんですけど、最初にもしないし、もうその当時作ったものっていうのがしばらくホック置かれてるシート。
0:35:30	いうことでその短半減期核種のやつが、新たに生成されてすぐ放出されるっていうことだそうなんで今考える。
0:35:41	今の段階っていうことだと、還元各種やつではいらないので、
0:35:46	今日、理解したんですけど、よろしいですか、松江清水でございますご理解の通りで、結構でございます。少し細かい話を申し上げますと、再処理事業指定申請書の条件では、
0:35:59	冷却期間 180 日、設計図をとっていません。ですから、こういった企画書も先生方も多いので、再処理する燃料の中に多く含まれると、そういうことを踏まえてですね。
0:36:10	最初事業指定申請書のこういった評価を実施しておりますので、当然対象学習としては見ている。ただ、今回は、先ほど
0:36:20	次の 7、9 ページの方でも示していますけど最終停止後 15 年ということでまず再処理をしていない。工程内に残っていたとしてもそれを全部この単位の力を介して、
0:36:30	廃液の処理方法は変わりませんので、中のインベントリが入って処理も変わってませんから、
0:36:37	いわゆる濃度限界濃度をした上回るような放出の話、団員各種考えられない、そういう状況も考慮いたしまして丹下企画書を外している、そういう整理でございます。
0:36:50	長まさにこの久野、
0:36:55	9 ページなりは 15 年停止してるってことなんですよその人も停止してて、さらに今は措置を進める段階で短半減期核種が施設内に投入されて飛散するっていう問題もないのでと、新しい目で受けることですよ。
0:37:17	だからその辺、
0:37:18	多分元気学生を入れるか入れないかっていうやつを、戻っていくことだとそう。次のもう一つは工程除染があるんだけど、そもそも、
0:37:30	どういう助成方法がされようと思う。
0:37:32	短半減期核種みたいな減衰してるんでもう関係ありません。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:38	ていうことでいいんですね。何かが閉じ込められていて、放出されるっていう解体に伴って飛散するみたいなことありがあったとしても、
0:37:48	還元期核種っていう点ではもう減衰してるからもうそんなの考慮しないでいいでしょって理解したんですよ。いいんですね、停止別で。
0:37:58	おっしゃる通り、丹伴氏、あとは何かって、何か変わったかっていうと、ちょっともう1回戻りますけど、ちょっと自分の理解のために確認しておきたいのが、
0:38:11	三木主査も、
0:38:15	臭いスライド3ページ目の最初の見込みのところ、
0:38:20	そうね、
0:38:22	そこは私が最初申し上げた、ちょっとファクトを掴むっていう意味で、最初当初の廃止措置計画ではその(1)で、
0:38:30	再措置の進捗に応じてこれを見直すからわかりますとそれ何でかって言うと時間迎える人のイベントを変えるだとか適時に出しましょうってあって、(4)でその、
0:38:42	競争基準は工程洗浄終了者段階に定めましょうね。
0:38:47	しかもこれは何なんでしたっけ。ちょっと解説してもらいたかったんですけど、とですね。
0:38:56	ページ目のところで少し後ですが、ですけども、工程洗浄終わる前の段階というか、すいません神保さんはございます。クリプトンの管理放出とですね工程制度を実施するということは、
0:39:10	ございまして、グループの管理放出をするっていう行為とですね、工程洗浄業界等を実施いたしますので、少量であってもですね、最初に運転する状況とかなり近い作業をして、
0:39:21	大津工程洗浄終了するまでは、クリプトンリチウムだけですね、ご協力管理表示を決めて、
0:39:33	それ以降は廃措置の段階に入りますので、相原さん、大津管理目標値を新たに設置していくと、というような、
0:39:42	記載をですねサナダ保護者当初申請で実施しているということでございます。下級生委員懇談会の状態と近いよね。
0:39:51	製造が始まったということだからそうです。そこが切り替わると運転段階の状態と、その明確に振り分けてるんじゃないのっていうのは工程。
0:40:03	洗浄が終了した段階である。
0:40:06	当時した一言でいいんですか。藤江清水でございます。そういったご理解でよろしいかと思えます。次に(3)として当面のコース管理としてちょっと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:18	よくわからないフリー布団と鳥井チームについては、これは何なんですか。栗田委員は清水でございますクリプトンにつきましては、空き月でございますから、フィルターとかを、
0:40:31	通さずに露出していくものだという事で福田の管理方針に議会がございまして、
0:40:38	そういった面では、フィルターを通ったりするとですね、いろいろ評価するのは難しい部分もございます。あとグループ等の存在場所もある程度明確にわかってる部分ございますので、
0:40:51	クリプトントリチウムは、クリップはそういうふうな形できん扱ってるんでトリチウムある程度定常的に法律するもので廃液の方にも移行して、定常的に放出したりするものでございますからこの二つについては、比較的安かったというのが、
0:41:04	この平成 30 年の時に設定した理由でございます。
0:41:11	そういう形で、
0:41:13	逆に加瀬瀬野地区離島 1 層トリチウムは、運転段階時にはその大塚に目標じゃなかったんですが、最初に運転時はなくですね、このは、勝清水でございます再処理運転じゃなくて小。
0:41:27	当初申請の時に新たにトリチウムと、クリプトンだけを設定して、当面の方としてですんで、それを維持した段階で、神戸線ホールまで、
0:41:39	運営管理しまして、この行動整理終わりましたので、今回全箇所を制定させていただくとそういう流れになってございます。調査とひっそりアジアの拠点も、
0:41:50	昆虫とくとチーズとクリプトンが事業指定の時に入れてなくて管理の対象としたかった理由はなるほどです。
0:42:00	情勢には、事業指定では 7 ページ、JA清水でございます。7 ページをご覧いただきますと、クリプトンとか
0:42:09	鳥井町につきましては 8.9 とか 5.0 と大きな数値最終に合致し合わせて大きな数字で、指定しております管理も実施しております。ただ、
0:42:20	平成 3 年の時は 1 段階に入ったということと、工程洗浄、最初にも当然処理量と少ないので、もう少し低い値も設定した方がいいんじゃないかという話があってこの 2 核種だけを、そういう企業、そういうのは、
0:42:34	それを公平戦力に今回みなして、
0:42:38	従って、実績を参考に、ちょっと現実的な管理目標値を先行して設定した。
0:42:49	理解しません。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:52	経営清水でございます。先行してということは、クリープの管理放出という、もう一つトリガーとしてございます。
0:43:00	なるほど、クリプトン管理放出するっていう意味で管理を触ったんですね。同点でも、先ほど説明あったように、もうすぐ終了いたします。
0:43:10	はい、どうぞ。機構ナカバヤシの要は廃止措置に移行したら、当然最初にしなくなるんだから、定常的には廃止する放射能も減るだろうっていうのがあって。
0:43:22	当然減らすんだよねっていう議論が一番初めであるんですけども、ただ我々はまだその歩工程内に核物質回収可能核燃料物質が残った状態で廃止措置に移行して、それを結局取り出すために、
0:43:35	その再処理の一部の機器を操作して、再処理と似たようなことをしないといけないんじゃないかと当時に考えてまして、それは了解であったり、うん。結局使わなかったですけど抽出もあるんじゃないかなと。
0:43:49	下がったときに、下げた場合で抵触してできなくなるってなるとほぼステップですっていうので、とりあえず当面その工程洗浄という類似の行為を行う間は最終事業指定で、認められた数字の枠内でやらして欲しいというのが元我々の方があるので、
0:44:06	それでもやっぱり事業者として頑張るところがあるんじゃないのっていうところから、グリップ一部についてはこれまでの実績ベースでこれぐらいだったね、減った値を設定でき、して管理できそうだなってそういうようなものに六ヶ所会の方でやっております。
0:44:22	ということですんで、じゃあ、それともその二つでいいけど全部見直すんだよね。はいわかりました工程洗浄は見直ますっていうのが美馬の廃止措置計画約束事です。
0:44:35	その付け替えしということでございます。
0:44:41	だからどっちかするとき、
0:44:43	ワインとか、
0:44:49	そういうことです。
0:45:02	でもこれはあれですよ。いや、その日の議論からすると、単に見直しとけばいいだけですよ。角谷さん、何か。
0:45:10	いや、当時その議論としては措置段階に入ったんだから極力下げた方がいいんじゃないの。
0:45:18	っていう議論があったんですよ。ちょっと気になってんですよ。もうちょっとこういうところは、下げれるんじゃないかとか、そういうのは見る必要ないと思ってるんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:28	いやな、当時何も変更しないっていうのはね札が廃止措置段階なんだから、
0:45:37	ささげ下げるとスタンスは公衆の被ばく低減に繋がるからで極力下げられないのかって趣旨で言ったんだと思うんだけど、今ここでももっと下げられないのかっていうことはする必要がないと思ってるんですけど。
0:45:53	多分それでいいですよ。幹事。
0:45:56	今はいい。
0:45:57	TRPの審査の基準の考え方を見ましたけどその線量国との何か合意がなかったら、
0:46:04	その国で下回ってればいいっていうのかケースをね、
0:46:08	原子力はそうおっしゃっており、そこにいわゆる荒も、今合理的な範囲でっていうのはどこまで期待されるか、或いはこちらから持ち出すかっていうところだと思います。やはり理由がない放出枠っていうのはやっぱり
0:46:24	いろんなところからいろいろ言われ、ご意見いただきますので、
0:46:31	本則段階が我々が 50 マイクロです。今日 50 マイクロしか線量目標値ございませんので、基本になってますけれども、最初事業指定申請の評価値がもう 22 マイクロでございますので
0:46:45	先ほど一番下がったというような感じなんですけど、当然クリアしてるものでございます。
0:46:58	今まで下げた方がいいのかって、議論のしようがないんじゃないかと思ってたから、単に見直しましたとその見直し方ごろ時期とかが適切なのかっていうのだけ確認すればいいんじゃないかと思っておりますけど。
0:47:29	ちょっと春日基本的なことで、何かちょっと笑われちゃうかもしれないですけど。
0:47:35	そういうのがその当時、運転段階ではどうせ何でしたっけ。志水でございますクリックにつきましては、
0:47:44	燃料集合体、主要原料あたりの生成量というのがございますんで、そうすると実際赤字償却利益をさせますと、大体 10 年ぐらいのアンリツの本村内でそれを、
0:47:58	0 を移しますので、それが将来等から出て、
0:48:03	ていう辺りも、いわゆる 210 トン相当の額の 8917 条に相当し、
0:48:10	ほとんど、せん断機かなりほとんど共通していったら、ちょっと回収したりしてございますけど、すごくクリプトンの管理ハウスってのがわからなかったんですけど、これはどっかでメジャーなんですか。
0:48:23	JA志水でございますクリプトン施設の方で、試験要員ですね、シリンダーの方に数を貯めておりまして、それが貯蔵したままでは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:33	それを廃措置に入ったということで、法律をしたいということです。いろいろ調整をして、令和2年に2年度から3年から3年かけて、
0:48:45	いや、そうしょうか、量としては、ちょっと
0:48:49	最初に運転しませんけど、
0:48:54	最初は運転の特に関係部間けど運転時に、
0:48:59	仕組んだ以上ございます。
0:49:03	でもそれはもう今法律して、
0:49:05	品物はなくなっております。うん。
0:49:10	トリチウムと一緒にですね。
0:49:14	燃料、燃料道、
0:49:20	発生して、清水でございます。標準燃料処理中がただ、途中でございませので、2000までばいろんなところに廃液もできますし、それからその方は行きます。いろんなところに、
0:49:36	説明させてございす等は除去が難しい状況になった海洋放出。
0:49:45	はい、ユアサ商事形になってございます。
0:49:50	うちの方針だけクフィット工程洗浄、
0:50:14	申請書は、
0:50:18	なるほど。
0:50:19	申請書に大平丹編各所線量評価対象外とした理由は記載されるということですね。
0:51:10	単純にあと10ページなのでカード交付金は、市さんにその岩谷日実績指定カード方針と、
0:51:21	回数実績のカーボンフォーティーンからそれ引き算して、20で割ったわけですが、当時、JA清水でございます。おっしゃる通りでございます。
0:52:01	こういうふうに、現在はどういう状態なんですか。清水でございます。大部分ですね低放射性防食廃液の方に移行していると考えてございまして、LWTFはその廃液を処理する施設でございますから、その処理をするときに、
0:52:18	代表になってですね、排気塔から放出する可能性がある、ということでございます。
0:52:25	多いですねあとガス他の社員も、
0:52:30	きちっとそのカウント値が
0:52:36	その燃料を再処理した時にその全量カーボンフォーティーンがどれくらいあって、今までの実績からするとカーボンフォーティーン引き算して、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:48	LWTFで全部処理するので、20で割るってことなんだけどその実感として濃縮廃液の中はもう法人があって、ちょっと処理どうするのかわかんないんですけど、全部出ちゃうんですが、それとその、
0:53:03	会議体、最後廃棄体する廃棄体の中に、河本近内ですが、JA志水小島基本的には全量法律面両方されるのは、廃棄体の方もいろいろ基準等もあると聞いてございますし、
0:53:18	もともと最初に運転している時ですね。うん。せん断の時も当然下部OTまでんで、あとガラス硬化をする時にも、比べると、
0:53:29	選ぶ傾向が昔アスファルトもございますが、そういった形にするときにも放置するということで、もともと最終事業指定申請書が全量を防止するとして、営業課長も設定してございますので、それについては、
0:53:43	今回は変わらないということでございます。
0:53:47	本部がっすかわからないけど、いろいろ二酸化炭素清水ございました。
0:53:57	ちょっと言っちゃうとあそこ、
0:54:19	清水でございます。ただ、7ページにお示してありますように川田評議員は事業指定申請書の時には再処理運転時で、
0:54:27	丸尾委員、質問を受けてますけども、高井はい装置に入って量も増えないということで、その大城については少しですね、小さくなるような、個別管理目標値を設定してございます。
0:55:01	資料としてはいいかもしれない。
0:55:04	ってなんか、ちょっと今よくわかんないけどねそこ、
0:55:10	何ていうかな。いや、ちょっとさっきの十河。
0:55:13	ちょっと三野さんからそうだったんですけど。
0:55:17	今野さんの配置計画で暖冬なってるのかとかその保安規定がどうなってるのかとかいう、
0:55:24	一応ね、伯東、
0:55:31	なんかどっか付けとっかどうかっていうのはあるのは、いや
0:55:35	こういう方針だっっていうのを確認して自分に対してその保安経済性申請書代わり行けばいいんだけど話かもしれないけど、何かそうなんかそういう。ただファクトがこのパワー本散りばめられてて、わかるんだけど。
0:55:52	なんかその広いんですか。
0:55:55	だからその評価表の羅列作業も何か参考でつけるとかってのはあるかもしれないです。結局これ、何かもうちょっとうちの中の話かもしれないけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:05	実際、今の指定申請書でどうも各市がどう立てて、保安規定でどうも各市がどうなってる廃止措置の銀行会社メンバーって話になったときに、そのパートの中にあってみただけの話なんですけど。
0:56:22	そういうのはまとまってるんですけど。パートの中には、JA清水ございます。7ページはそういうちょっとつもりで作ったものでございましていいですか。
0:56:32	そういう意味ではですね最終事業指定申請書これは許可のところに書いてある。
0:56:39	当然これは保安規定今持っています。
0:56:42	わかりました。うんてのはどこと安定は、その二つは再処理事業指定申請書という、書いてある数値と、うん。はい措置計画3平成30年6月6日、この二つの委員が保安規定に記載されている数値になってございます。
0:57:01	今ちょっと上着てみますけど、アンケートかな。
0:57:06	第3、第3点がですね、例えば第14-1とかですね14-2とか15です。
0:57:16	ふうん。
0:57:22	ちょっとあんまりそういう感じです。ふうん。
0:57:31	計画書五つございまして、策定シミズございまして各種が五つございまして、それぞれ事業指定申請書の、年間法律の基準として年間落ちるが決まっています。
0:57:43	300お客さんとか3ヶ月。
0:57:47	3日、10、これFLIPと今、改正前が8.9ヶ月17時、これ運転時もあったんですが、今も保安規定上は生きております。
0:57:57	再処理運転時の辺りはですね、一定のですけど、(2)という表があっただけですね。
0:58:08	3人の気持ちで、平成30年と決めた低角確率で二つ課題が、現状残って、現状保安規定に記載されてると。
0:58:19	本日も二つで、カーボンとヨウ素130129については、
0:58:25	営業停止にする値が保安警部補って言って、それが決まって、
0:58:30	現状を保安規定の記載でございまして。規制庁澤ですけど、今はそのあれですか保安規定の書きぶりとか細放出量と、大津監事目標値を、
0:58:40	満たすようにしなさいねとなっているということでもいいですかね。JA清水でございまして規定上は、本市の基準を満足するというのが、上限でございまして、その強弱の目標値という形で、努力目標みたいな形の記載にはなっております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:57	実は法律管理目標というのはねしっかり守る形になりますが、ちなみにこの辺りを守ることになっております。
0:59:05	栗城さんについてはちょっと何かちょっとあぶれスタンダードみたいな書きぶりになってることですね。でもどっちも満足しないといけないから結局そのこっち側でやるってことですか。やっぱり。
0:59:17	なるほど。原子力機構でちょっと再処理自身が古い施設で、民間を取った時にはもう線量目標値がなかったんですね 10 マイクロがなくて 1、1 名しか、1 名だけ一部しかなくて、
0:59:30	その時の事業指定の申請ではその放出管理目標値っていうことは出てこないっていう、あくまで再この事業をやれば年間最大放出がこれですっていうのも書いてあって、
0:59:40	その中で受けているんですけども、一方で他の例えば、六ヶ所事業所ですとかになると、最大放出量と、
0:59:51	その目標値が両方、事業指定レベルで入っていて、初回の時にはイコールになるように作って、実際の運用はどっちでやるのって言ったら目標値の方、
1:00:04	放出管理目標値で運用します。保安規定でまず初めに、事業者でその目標値がなかった目標値を取り込んだのが結局その廃措置のときのその 2 核種で今まで何で管理してたのっていうとあくまで最大放出量を見て管理していたっていう。
1:00:24	今回の全面刷新でやはり時代に追いつくというか、そういう形で他の事業と同じような、二段階の最大事業をやる上での最大事業の正当性を評価する上での最大放出量と、
1:00:39	実際に運用するとき、目標とする値。
1:00:43	確かに目標値なので、50 枚黒須専任副長の指針にも告示かがあるようにあれを破ったから法的にどうだっていう話ではないんですけども結局実質的に社会的にはそれを日本も、
1:00:58	オーバーするようなことは気今実質的な違反扱いなされるような話なので、我々はそれを守ります。
1:01:06	すぐにはそんな。
1:01:08	開設計画認可取って保安規定認可取る時には、交通管理目標値だけ。
1:01:14	になるんですよ。でいいですかね志水ございます。おっしゃる通り事で本規定はそうなります。
1:01:23	そういう意味では元一本化っていうのはそれ、はい。確かにおっしゃるようにそういう背景がわからないところの一本化って何のことっていうことになっちゃう。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:34	そういう意味では当面の間、栗ポイントかも。
1:01:39	トリチウムについては、個別管理目標を定めるというのが、当初申請に書いてございましてそれを工程洗浄に見直しということを当面が、終了したというような、
1:01:49	タイミングということで、それで、私は試運転時の、
1:01:55	そう、そうする言葉として、演技されていくと。
1:01:59	いうことでございます。
1:02:01	私は、次の質問はこれ、何かとった後、はい。杉尾。いつ帰るんですか。そうですね。
1:02:10	次の会議なんですかね、燃取原子力機構ナカバヤシまず考えられるのがLWTFがすでに中に入れ込んでるのでそれ以外の新規の施設、廃棄物の処理関係ですとか、貯蔵ですとかそういった施設も、
1:02:26	新しい設置があった場合には当然、それを見直す際に、これも見直すと、もう一つは他の廃止措置、廃炉とかと同じで、
1:02:39	その廃止措置の小出特別な放出ルート、例えばもうせん断を汚染した物品を聞くその場でせん断しますとそうすると切り子が出てそれが
1:02:51	放出されますよね。その量は大丈夫かっていうときにそれを確認するっていうのは出てくる。うん。
1:02:58	だからそれが、じゃあ保守管理目標値は出るかどうかちょっと評価してみないとわかんない。基本的に一旦下げたものを上げるっていうのはハードル高いんで、
1:03:09	中に収まるようにこういう対策をしてやるので大丈夫ですみたいな申請になると思います。
1:03:15	規制庁賛成選考議案施設を今その解体できるので、
1:03:27	系統助成して、解体していくと、出そうとステージはずっとこの、
1:03:33	大塚に目標値いきますよね。
1:03:36	それだけ系統除染はこの範囲、今回申請の範囲でありますけれども、実際の解体、特に溶解槽ですとか高放射性廃液貯蔵場、鑄造、
1:03:50	貯層のようなものになると、
1:03:54	ちょっと解体の方法とかを決めて具体的にやらないとこれ、これの中に収まるかどうかという確認は必要になってくるのかなと。
1:04:03	今は結局、じゃあこれは何なのかったら、
1:04:07	系統除染のフェーズは確実にこれですか。
1:04:13	郡司清水でございます。景観醸成までは、廃液の処理方法も、さっき貯槽をね、解体するって話ございましたけれども、所長があれば、その貯槽から出る。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:25	廃棄体抜けるルートも再処理運転の工程管理処理方法とかありませんので、そういった意味でこの個別管理目標値を決めた系統前までは、
1:04:35	問題ないというふうに認識しておけば改善時にはそのちょ、廃棄のリクルートですか配布の資料は多分変わらないと思うんですが廃棄のルートとか変わる可能性がございますのでちょっと検討が必要だということ。
1:04:47	ちょっと補足させていただきます。
1:05:05	LWTF等カード 14 の関係をちょっと教えて欲しいんですけど、このカーボン需要が出るのは、せん断の時も出るし、
1:05:18	対策で、強いて出るし、頭の人に至っているというのは、それは何だろう。そのカーブ 14 号、これ日本温度とかそういう。
1:05:30	そういうカーボン違って何ですかって聞いて。
1:05:34	とかそういう関係が、直江北井中に付与容量とか溶けて、それを御年温度上昇させることによって出てくるとかそういうことなんですよ。
1:05:47	こういうことよりもですね機会を与えるませるときに、
1:05:53	上げる時にどんどん等価ではなくてですね。
1:05:55	多分そんな北井の方に移行していくと、1 回入ってる時は 1 回中にまだそれまでの時に対象になって、
1:06:02	売れているというふうに討議をますし、それはさ、ナカバヤシ等ちょっとあのプロセスの詳細までは私もちょっと存じてないんですけどもそのまあ、LWTFでカーボンフォーティーンを扱うときはまずカーボンフォーティーンが今どういう状況かと言いますと、低放射性廃液、さっき入ってる。
1:06:19	気中に入ってますんでそれは何か、どういう状態かってアルカリ性の廃液があってその中には炭酸ナトリウムの炭酸イオンの形でカーボンフォーティーンがまざって、
1:06:30	そういうLWTFに持ってきてセメントにはまずって固化するんですけど、その過程で、要は
1:06:39	中央処理の中の何かその化学的な処理を行うことによって、
1:06:43	いや炭酸イオンだったものが、二酸化炭素に代わってガスになって出てきます。
1:06:51	はい。すいませんおはようございます。はい。
1:07:03	その他よろしいでしょうか。
1:07:09	それでは引き続いて、資料の方
1:07:14	お願いします。乳井職長中林末吉量 27 ページですが、検討助成、今後校正洗浄が終わりまして系統調整。
1:07:24	こうする四つの施設について系統除染とは、どういうことをやるものですかという、全体的な枠組み等をでは具体的に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:36	今後、いわゆる先行施設と言っているものでどういうことをしていくかというものを、直近どういうことをしていくかというものを説明いたします。
1:07:45	それで通しの 28 ページですが、これ現在の廃止措置計画書に示して最終施設の廃止の全体の段階ということで、まずは最初に運転が終了した後第一段階ということでこちらの解体準備期間。
1:08:01	という枠を作っております。この中に工程洗浄ということで最終設備本体から回収可能核燃料物質取り出したり、それはもう系統除染統制状況調査と。
1:08:14	いうものがあると。これをそのままごとに解体するための準備のために行うようなものです。第二段階として機器解体期間というものがあまして、これは汚染した機器を順次解体撤去していくにはまだかい。
1:08:30	最後が、管理区域第 3 段階として管理区域解除期間ということで機器が撤去した後、建屋外の洗浄機を行って、
1:08:40	管理区域を解除していくと、我々が廃止措置計画上清野建て全建屋の管理区域解除の段階で、とりあえず廃措置終了。
1:08:51	本当にやるということで、
1:08:55	ほくぎんを作っています。
1:08:57	一応こういう形になりますけれども実際我々の再処理施設というのは発電所のようにも、大きい建物が 1 個あるわけではなくていろんな建物があつて、
1:09:08	今回ここでお示しする先行施設再処理設備の本体等の設備があつた分離精製工場。
1:09:20	このように、すぐにも助成して解体に移りたいものがあれば、LWTFのようにこれから作って運転していくようなものもありますし、組成のため、嘘、その廃液ですね、最初に運転中に、
1:09:34	まとめた廃液とか廃棄物を今後、
1:09:38	搬出するまで、廃棄体にして搬出するまで運用しないといけない施設という、いろいろあまして結局この段階がその施設の中でも切り分けて
1:09:48	並行して進んでいくということ。それは例えばの中でも同じようになかなか除染が進まない。
1:09:56	場所もあれば今すぐにも解体に着手できるところもあるということでは、
1:10:01	現状の現場に合わせていろいろ段階変わっていくものと考えています。29 ページでは系統醸成とは、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:13	何を目的としているのかと、いうことで一番緑の枠に書いてございます。放射性物質汚染された基金を解体作業時における放射線量従事者の被ばく低減を目的として行う。
1:10:28	その際には現状の設備システムの改造を行わずに、今の設置の状態、設置した状態で実施するような助成、保育の系統除染と称していると。
1:10:40	こういった経済情勢を進めるにあたって、我々の再処理設備、固有の事情等もありまして、少し考慮すべき事項というものを1から8まで整理してございます。
1:10:53	まず一つ目ですが、汚染の詳細な状況を直接把握することを困難ということで、どういうことを言っているかといいますと、あくまで発電所等の比較になりますが汚染再処理設備の汚染というものを、基本的に使った機器配管の内面に放射性物質が付着している状態です。
1:11:12	もともと高放射性の関係ということで人が近づけないようなセルと場所を、に設置されているということで人が近づいてなかなか測定することも難しいです。前さん。
1:11:29	付着原因ということになりますと発電所でやっているような放射化計算といったもので定量的に推定するのもなかなか難しいです。そういったところがなかなか詳細な状況を把握するだけでもかなり
1:11:45	困難な状態にあると。
1:11:48	何としてさらに汚染の状態、様態形状が場所によって異なっていると、ということですがこれは再処理のプロセスに起因してまして、それぞれの工程で扱い、放射性物質とか、あとはどういったか。
1:12:04	携帯でどういう処理をしているかによって、付着の程度ですとか、その化学形態。
1:12:12	だものはもう変わってきてくると。
1:12:15	他に資料乗入れ金も依存して変わってくるということで、どっか1ヶ所を測定すれば他が類推できるかというところもそういうものでもありません。
1:12:26	三つ目、これは系統除染で発生する廃液の話ですがこの廃液の最終的には、当然処理をしてきちんと処分できる処分体にしていかないと。
1:12:38	いうことで
1:12:40	基本的には既設の処理施設で処理することになります。今の東海再処理には、二つのルート、液体廃棄物について二つのルートしかありません。一つが、
1:12:53	LWTF、今の低放射性系の廃液は揺らぐっていうふうにセメントを起こす。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:59	進め方液体廃棄物はもうガラス固化をしていくと、この二つのルートしかなくて施設にも二つしかないということで系統除染で結局発生した廃液についてはこの二つの施設で処理できるような、形態のものでないと駄目です。
1:13:17	次の 30 ページにいきましてマニュアルでございます。除染試薬としてはいろいろ議案の一般工法ある問題を我々使えとしているのは、これまで伝えられていた硝酸ですとか水酸化ナトリウムである川岸夜光販売でございますが、
1:13:35	これが大量に使用する、できるかというところというわけでもございません。一つトリウムは金属イオンですので一旦工程に入れると、最終的に取り入れることは困難な炭酸ということでガラス固化処理に持っていかざるをえないんですけれども。
1:13:52	当然、ガラスむさ性状を含まれるナトリウム量っていうのは決まっていますので、
1:13:58	あまりFPとのバランスで大量のナトリウム足尾充当をガラス固化の発生本数を、発生本数とか製造本数が増えてしまう。
1:14:09	もう一つ硝酸水溶液ですが故障参考エムスリーが入ってしまっていて、これ現在我々の方でLWTFでセメント交換する前に、
1:14:19	分開始してしまうというセメントの中に硝酸本があるとは、処分場の環境因子として、問題となるということで、LNG分解を考えているんですが。
1:14:34	その分解するための負荷がかかってくると。
1:14:38	以前、規制庁の方からご指摘を受けたようにLWTFの硝酸高分解というのは原子力機構のLWTFが初めて大規模に使うプロセスということで、半ばも
1:14:54	重要なプロセスなんですけどそういったところの影響が出てくると。
1:14:59	去年まで、
1:15:01	で、五つ目、硝酸ナトリウム以外の特殊な除染廃棄というのは真夜中にあります。よく調べてパターン 3Kですとか硝酸ですとか、
1:15:12	発電ですといろいろなさん、有賀委員の集約を使ってございますが、結局こういったものについては、先ほども項目にも関連しますが現在の既設の貯蔵施設ですとか処理施設できちんと取り扱えるのかということをおあらかじめ確認する必要がありますので、
1:15:31	それができたとして、作った処分体が処分できるものかといったところの事前のかなり慎重な確認が必要になってくると。
1:15:42	三つ目ですがほぼはい。
1:15:47	昨日貯蔵する廃棄施設ですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:49	これも現状特定廃液等を使用してる最終臨店時に発生した廃液等かなり相当量残ってまして、空き容量の制約がございます。
1:16:01	高放射性の液体廃棄物については以降放射性廃液直
1:16:07	で今貯蔵してございますがこれTVFの溶融炉の運転が本格化しないとなかなか減ってこないでって放射性につきましてもLWTF運転開始がある11年度までということになってます少なくともするまでは、
1:16:25	貯蔵し続ける必要がありますということ。さらに、低放射性についてはプラントの運転停止中でも定常的に発生してしまう廃液というのがどうしてもあって後、系統除染、実際やらなくても徐々に増えていくという少しご説明でございます。
1:16:41	なので、こういったもう廃棄貯蔵施設が振れるようなことも回避しないとイケない。
1:16:48	真奈美といたしまして、こちらは無理に系統除染をやる必要がない機会というのがありまして結局その一番初めに示し直したように携帯無線というのは、あくまで解体時の被ばくですね作業員の被ばくを、
1:17:05	極力防止するために行うものですから、現状でも十分人が近接して、解体できるようなものまで、系統女性がなくてもいいだろうということで、⑧、さらに、系統情勢をあまりやったところでそういった近接して、作業者が解体できるような状態にならないものっていうのはおそらく出てくると。
1:17:27	いうところをでするのでそういったところについて遠隔解体と割り切って系統情勢、飯尾大内議員ということも考えられるというのは、谷津の観点をもとに考えていきたいと考えてございます。
1:17:44	11 ページで系統除染の中で、そういう意味では段階に分けて進めていこうと考えてございます。こちらは四つの段階に
1:17:55	日を分けさせていただいています。
1:17:57	まず第一段階は汚染状況調査をやって、先ほどあったのをこれ除染するべきか、しないか、とかどういった助成方法が必要かというものを荒が把握するためのデータを浸漬すると、第一段階は低濃度の硝酸水溶液による洗浄ということで、
1:18:16	こちらはどちらかといいますと
1:18:20	今でもヒール分と言いましてどうしても排出できないコクブ女性の構造上どうしても排出できない終了の駅とか残っていたり、あとはもう、
1:18:32	これまで普通の水版では水がそこまで行かないような、要は気相部ですね気相部とか入ってきそう配管、そういったところにも微小飛沫等で移行しているものがあるって、そういったものを洗い流すと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:46	硝酸数量の洗浄資料、第一段階が終わればその効果等を確認するような汚染状況調査されてやると。
1:18:54	第二段階がアルカリ水金曜日扇状ということで、こちらはどちらかを目的としての不溶解残渣ですね、不溶解残渣の溶解によって助成を行うということでございますこの最後のアルカリ水利益だけではなくて、詳細な方法による洗浄といったもの。
1:19:15	第3段階がもういよいよその詳細アルカリ以外、特別な試薬を使うための助成ということで本当にこちらをやるためには先ほど申し上げましたように既存の施設の取り扱いですとか
1:19:29	処分といったところも含めて評価した上で実施を判断する。
1:19:34	方面隊、こちらは予備的なものですが、もし、そういった特殊な除染等を行うことによって、保守、
1:19:43	作業時の被ばくの低減を上回る効果、例えばはい、解体廃棄物の処分レベルを下げるぐらいまで効果的な助成方法というのがあればそれをオプションとして実施するというふうに記載して、
1:19:59	助成、系統除染が終われば右側にある機器解体期間という方法に移行いたしまして機械等撤去を行うと。
1:20:07	いうところになります。また置き換えて、中或いは一解体後の除染というのもありまして、そちらの方はどちらかという和被ばく防止というよりは廃棄物の処分レベルを下げる。
1:20:22	そういった方があるのかなということで全体どうするんでしょう。
1:20:28	どうも口頭で申し上げましたようなことも32ページに、文書で書いてございまして、第一段階といたします。硝酸は3規定以下の小算定濃度の照査、
1:20:41	を使うことによって、手間隙リスクを発生させない、第二段階もアルカリで使うこれまで使って、再処理運転時も使っていた水酸化時にすべきと。
1:20:54	です。
1:20:56	2013ページ、工程の進め方を、
1:21:01	先ほどフロー図にありますようにすべて四つの段階をなめるというわけではなくて、やはり機器ごとの支援状況に基づいて、除染の効果、除染廃液の取り扱い頭。
1:21:14	解体の方法を具体的に検討した上で総合的に判断した各段階ごとに実施を考えていくといったところでございます。そのため全状況調査をかなり高額に実施する必要があると考えておりまして少なくとも秋段階の実施全部。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:31	いうことになります。
1:21:35	持参廃液取り扱いについて第一段階第二段階はこれまでに使っていたは試薬を使うことから、既設の放射性の液体系を廃棄設備設置包装、
1:21:50	すごくない。
1:21:51	言ったところでございます。
1:21:54	現在の保安規定等で定められた濃度を、に基づきましてこちらに記載したウランプルトニウムの濃度を全ガンマの頭三名程度と。
1:22:06	それから、もうちょっと控除した上で廃棄物処理場以下、行って処理して
1:22:16	廃棄施設、廃棄積算が貯蔵するところこれを超えるものについては基本的に高放射性廃液貯蔵場に持って行って、現在
1:22:25	止めている高放射性廃液にまぜて処理するといったところでございます。
1:22:31	予算来年につきまして、減損第四番につきましては今後詳細化して行った上でその処理方法にして、宇佐見さんがまた申請して、認可をいただくと。
1:22:46	14 ページが最初技術を削る既存の廃液の処理、廃棄のフローを簡単に表したものでございます。一番上の黒いところが放射性廃液気体廃棄物が発生したとして、
1:23:01	こちらに書いてある濃度を、以下であれば右側異常というものであれば左側、こういうものは早く貯蔵して、寄付でガラス固化体にする。
1:23:13	地方要望以下のものは低放射性の液体廃棄物を我々称しています。こちらは施設Z施設というところで蒸発缶がございましてこちらで蒸発処理をして膨縮をすると。
1:23:28	蒸発してきました比木主凝縮した後、凝縮させたところこちら保護水分ということで、施設でお風呂等を取り除いた後に開放している。
1:23:41	一方で、濃縮植木の方は低放射性の液体廃棄物貯蔵ができる。この五つの施設でそれぞれ、五つの施設にある貯蔵。
1:23:51	貯槽に貯蔵して、最終的にはLWTFでございます。こういったフローを、また東海再処理施設の液体は、
1:24:01	幾つ直分だ。
1:24:04	35 ページが今回先行して、系統除染、第一段階、四つの施設ということで、
1:24:11	中にも図示してございますがこの中心にあります通り精製工場、私の右隣にあります雑種地。
1:24:20	その下にあるプルトニウム、右、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:23	開発施設とあとくりこむ回収技術開発施設、こちらの方をNPDNPCDFにつきまして工程洗浄等を終了して、回収核燃料物質を取り出したと。
1:24:37	いうことでもうこんなの廃液の輸送経路等で一部を使うんですが廃液の処理、等には使わない、施設ですので主除染費関係に進みます。
1:24:48	ということです。施設につきましては先ほど申しあげましたように
1:24:55	工藤新宅にプログラムの管理放出のアンリョウ市営向後施設を使用する必要がありませんので系統除染を進めていくという、
1:25:04	でございます。
1:25:09	36 ページ、第一段階、では、これらの施設のいろんな空き工程がございますが、それらに対するアプローチをどうするかという区分、こちら三つにあります系統除染を実施すると。
1:25:25	いうもので、まず汚染状況調査の結果を見た上で判断しようというもの。
1:25:31	最後はそもそも現在でも人が近づけるし、
1:25:37	設備ですとかになるますが実施対象外系統助成なんてしなくてもそのまま解体に移行できるよという三つに分けて考えてございまして、
1:25:47	概ね効率の運転時、どういう放射性物質を扱う系統処理を行っていくかというところで区分をしていいということで、その詳細な区分の方法が 37 ページ。
1:26:00	認知させていきます。
1:26:06	現状調査と、助成を実施するというのは、最初に運転にそもそもシーズン燃料会議ですとか高放射性廃液扱うような工程というの、液を払い出した後でも、かなり密にしているというところを、
1:26:23	微小残っていたとしてもかなり汚染状況にあるというところでこちらの生命、除染をしていくというところでは、
1:26:34	オランダ商施設、或いは、プルトニウム転換技術開発施設のようにB先生工場では要は精製された製品でありますウランやプルトニウムを扱っているようなものはそもそも人が寄りついて、遮へいのなく、
1:26:49	1 人についてこれまで運転していたということからそういったところは助成の対象がいいと。
1:26:54	そういうところを考えてございましてが一部
1:26:59	少し除染をすることによってその建設作業時のは、
1:27:03	建設業種が近接して解体するときの保護具等の対策が不要になるという場合は整備状況に基づいても、
1:27:14	保全していこうと考えてございまして。あとはもう系統除染というのが

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:20	あくまで現状のまま行う、あまりその設備をいじらないということが言説設定してますので、設備がないとちょっと液が払えないとか持っていけないというところについては対象。
1:27:37	菱沼室長。38 ページ、こちらもちょうと新垣になってますが、助成の方法として一番扱い、工程につきましては、
1:27:47	取り戻しを説明はまた純水を用いて、収益浸漬確保を行うことで助成を実施する、その際には 5 設備システムの改造を行わない。
1:28:01	廃液につきましてはもう分析を取って、状況確認するとともに回す方で洗浄すると非常に液量増えてしまいますので、
1:28:12	低いレベルをして、いいところから高いところへ流すというふうな形でいきまわしをしていく。
1:28:20	そういう一つ液体を使わない工程ですね、答えを扱う工程、具体的にはプルトニウム転換技術開発ですね、転換した後のMOXを扱うようなところ。
1:28:31	そういったところにつきましてはこれまでは、そういうようなウエスブラッシュを使った拭き取り等の助成を行うということで、グローブボックスという閉じ込めは維持しつつ儘田にある機器を分解しながら精製していくということを考えてございます。
1:28:49	次 39 ページ以降が廃棄発生量の管理のあり方という、一番ご説明しましたように、やっぱり最終施設の廃液処理経営がいろいろ、なかなか無理がきかないところがあるので、
1:29:04	ちょっと、
1:29:06	適切な排気発生量を管理していかないといけないという、そういったことを記載してございます。そして放射線につきましてはLWTFの運転はお返しするまで減少しない。
1:29:19	上に現在ある貯蔵施設に特定廃液が貯蔵されてまして、
1:29:26	かつ、検討調整もやらなくても定常的にこういった低レベル灰率というのが出てくるので溢れ右辺に言い切りをふやしてしまうとアピールしたい。
1:29:40	急行せいぜいコンセプトとしては下の宿泊枠に書いてありますように、LRTMR11 年と考えてございます。第 1 編開始と考えてますます当面のスケジュール上のリスクを考慮した上で、
1:29:55	系統除染で既設直施設の容量が圧迫されないようにちょっと管理していきたい。
1:30:01	具体的にわーR11 年の運転開始予定としている時点においても、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:08	定常的に発生する廃液ですね、系統助成以外ではどうしても発生が止められない廃液を住民分というのは、受け入れ可能な容量を確保できるような範囲で、除染試薬の使用量を制限していきたい。
1:30:23	具体的にどういう救済して決めていくかというのは40ページと10基あります。41ページ見ていただきます。これ現状3ページでございますが表の右側も大きい声。ところで、
1:30:39	昨日所大前とか青谷区の右側の既設の貯蔵施設の貯蔵容量は、テレビの場合は3ケキ。
1:30:51	アルカリ系の中低ということで三本目にされておましてそれぞれ7507501550円。
1:30:58	生きようがあります。
1:31:01	括弧右側の黄色の(イ)というのは、現在の貯蔵容量で、貯蔵量で、これぐらいは今使っているというところでございます。ABCというものは定常的に発生する液量がどれくらいかという実績から予測した数値で、
1:31:18	次画廊は11年度に発生する用紙が11年度以降10年間に発生する量ということでこれらを全部足し合わせて、貯蔵容量をから引いたものを、系統除染には使う量と。
1:31:31	こういうことを考えてございます。
1:31:34	細野坂野。
1:31:36	使用するよう駅というのは現役ですので、もう築倍率等を考慮して
1:31:43	決定する。
1:31:48	そういったところを、系統写生入り42ページからが高放射性廃液。
1:31:55	側の方でございます。恒設廃液につきましては、
1:32:01	は、高放射性廃液貯蔵場で貯蔵してございましてこの特徴としては、発熱、崩壊熱が高い事各判定をやっているの
1:32:11	実は定常的に利益が減っている。
1:32:14	あまりをしなくても減っていくということで、
1:32:17	これも大体、
1:32:21	年間水これまで実績で推定すると12から30立米ぐらい減っていると。
1:32:27	ということです。
1:32:29	一方で事故対策のために予備中操からの予備貯槽が1基あったんですけれども、そこに事故対処で使う水を貯水するという方法で、使っているためには予備調査がないと。
1:32:42	ということで、そういったところも考慮して、万が一ですね、一つの除草を画像起こして使えなくなった場合には、この助成で受けられるように、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:51	そういった余裕も考慮した上で運用していかないといけないと、いうことからガラス固化処理で、順調に廃液量が減っていくまでを、系統除染の使用量を、この自然蒸発量相当にしていくと。
1:33:08	この制度に進めていこうと考えております。ちなみに現状の益が減った分というのは、詳細をつぎ足して、元に戻しているという処理をして、
1:33:21	43 ページが 4019 でございます。もともと佐伯あたり 120 立米ありましたこの廃止措置計画用設計地震量に対する貯槽の耐震裕度を増すために、
1:33:35	最大液量 90 立米に制限するような処置をしてございます。
1:33:40	すべての空き容量を足し算すると、合計が右側に書いてありますが、若干 90 より上ぐらい、つまり、一つの貯層を掛けられて周りで
1:33:54	使っている量をカバーするのに対してあまり余裕がないような状況にありますので、やはり自然蒸発分だけでちょっと制約をかけていきたいといったところでございます。
1:34:09	4 ページ、実際には系統除染の作業でございますが、鳥飼でございますように特徴といたしまして機器改善を行わない、扱うものをこれまで使用していたリスクのない低放射性の硝酸水系純水。
1:34:25	火災爆発の原因となる量の加工食品も使用しないということをもた扱う、除染廃液自体も、最初の運転時等に比べて十分スペックの低いものですので、
1:34:40	本日ご説明いたしました効率管理目標値を超えないように管理することは可能でございますので、
1:34:47	基本的にはハードウェアで何か追加の安全対策が必要なアクションということではなくて、これまでの、
1:34:53	保安規定に基づく安全管理上処置を適切に行っていきたい。
1:34:58	ありがとうございます。
1:35:01	この 45 ページ 46 ページはもう、前回緒方さんから質問がありました非設置についても、
1:35:14	内容を変えています。一つは使わなくなった施設間で、要は再処理G 中間製品の、それぞれ送っていただくについては閉止措置をする。
1:35:27	具体的には分離精製工場から生成した硝酸ウラニル溶液ですとか硝酸プルトニウム利用他のを施設に、PCDFとかDNAはほとんど、
1:35:37	転換ダッシュを処理するというのをしてましたのでそういったラインは使わないで閉止すると、クリプトン回収施設においてもせん断溶解オフガスを払い出してましたが、それも変質と。
1:35:51	ということで個別の最初によって、できないような状況のこと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:58	あとは内部の設備として 46 ページにありますようにPCDFはモッコさ転換処理の際に、今野さんのボックスがさせるをコントロールするために、賠償関連分というものがございまして勘案操作に水素ガスを使ってましたが、
1:36:15	原則の説明を使用しないよう水素供給設備の確認撤去を参ります。これによってそもそも施設内での水素爆発のリスクが行うといったところです。あとは場所そのものを行うマイクロパワー加熱装置についての防止をしないでマイクロ波を、
1:36:34	次の編集を行うと、そういうことでございます。
1:36:38	以上を補強当社全体の、
1:36:51	確認をお願いします。
1:37:20	規制庁の方ですけど、今回その 4 施設、機器系統系東条さんが、
1:37:30	対象として、
1:37:32	通常物量的に、ここを重点的的重点的結果、
1:37:38	系統除染が対象設備が多いところっていうと何か、
1:37:42	その辺になるんでしょうか。
1:37:45	はい。原子力防災です。やはり再処理のよ、せん断溶解抽出、濃縮をやった溶液の濃縮は一部、脱しウラン脱硝も入ってございました分離精製工事を、
1:38:00	こちらはかなりの工程の話複雑な工程は持ってますんでそこが一番物量的には多い。
1:38:09	一方で、
1:38:11	ワンタッチ所施設、あと、FLIP、
1:38:14	回収技術開発施設、こちらは対象にはなっているものの、ほとんどの設備が、人がもう普通に近接していけるような状況になってますので、
1:38:26	ここはほとんど線状況調査で終わってしまうというような形になってます。
1:38:35	その犠牲者向上は、
1:38:39	除染の効果があると期待できるところが結構あるということで、最初は大木大池。はい、齋木原子力往々ナカバヤシ説おっしゃる通りでございます。
1:38:55	さっき言ったその例えば、国井ちゃん回収技術開発施設っていうのは、
1:39:01	ただ経緯は、系統除染してから変えたいっていう、
1:39:07	ステップかと思うんですけど。
1:39:11	解体解体に解体をすとかいうことではないの解体を先行してやるっていう計画ではないということなんですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:20	研修期間ナカバヤシさ申しおる通り今でも解体しようと思えば解体できるぐらいの、
1:39:27	線量レベルになってまして系統除染という枠組みに一応施工用施設の中には入れてますが実質洗浄機はやはり調査しないといけないというところ汚染状況調査をします。
1:39:41	そのあと解体に移るとして解体の方法を決めないといけない具体化しないといけない。当然その際にどういう解体方法、方法を使うのか。
1:39:53	その安全性というのは当然問われますし、今度はその解体廃棄物をどう、どこに保管して管理するのか。
1:40:02	というところを準備しなきゃいけないというので実質的にその系統除染期間ではそういったところの検討を詰めていって、改めて解体する際に申請を行うということになると考えてください。
1:40:38	調査、この
1:40:42	表今日除染施設も、要は残留性ウランプルトニウムを回収しますよね。
1:40:49	軽量化ん組成比ガードちょっと関係は、何か手続きはどうなりましたっけ。今、計上されてるんですかこの数字っていうのは。
1:41:00	藤。
1:41:05	衛藤元書記高野仲川です。現在工程洗浄終了後の太陽はごく低い値だということで今、数字と調整中でございます。
1:41:16	いくは、そういった査察等がないように、なくなるように手続き等を進めたいと思います。またそちらの方から、衛藤、これを始めたばっかしで、まだ
1:41:30	進捗段階で、通していえるものはありませんけども、江藤。
1:41:34	でも運営というのは、彼らもしてますので、今後その施設議長の首藤加藤というのを進めていきたいと思ってます。以上です。わかりますが、井川です。
1:41:46	ちょっと気にしたのは今
1:41:48	SSSの手続きをされて非この申請がされた時に、その観点で、
1:41:58	沖金で詰められたらちょっとあれだと思ったんです。
1:42:01	スリーエフの関係どうなってんですかっていう話があったときに、ちょっと止まっちゃうなと思ったんで、ある程度ちょっと申請前にちょっとそこら辺のことは、解説していただきたいなっていう趣旨でちょっと聞きました。
1:42:20	ラボデータ主治医側と調整してるのかもしれないんだけどその申請の時にそのSSS紙とか出すもんで、そこで、
1:42:29	その前ぐらいまでに、ちょっと状況を教えていただけるといいのかなと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:35	その辺が宿題なだけっていう、入手したんですけど。
1:42:41	検証機構の仲村です等を、
1:42:44	北限の家、承ります。進捗段階ある程度進捗で何回進みましたら、ご説明したいと思います。またちょっと赤嶺イシイ赤嶺として出せるほどのまだ進捗ってのはないので、
1:42:57	この大杉の段階でご報告したいと思います。以上です。はい、規制庁は問題ないと思います高校等とかで構わないので。
1:43:05	こちら知識ゼロですのでちょっと教えていただければっていう話ですね。
1:43:13	議長仲間です了解いたしました。
1:43:24	これは廃止措置計画との関係やと思面的にはあれですか。汚染の除去だけ見ればいいんですけど。
1:43:36	何だろう、局所生命系等助成系統除染の全体計画を、
1:43:44	示してそのうちの第1ステップを詳細化して申請するということなんですかね。
1:43:52	ちょっとそのカテゴリ。
1:43:57	これ
1:43:58	審査書書くのかなっていう。
1:44:01	そうなんですけど、それは僕の構成の状況ですか。解体の方解体の方法と関係ないんですよ。入ってる方ではないです。そんな状況ですかね。
1:44:16	汚染の除去なんだとすると、
1:44:21	汚染の分布等を評価した上でも入ってるし、具体的な汚染の状況の方法も入ってるし、安全勘定の措置はこれが綱になるんですね。
1:44:35	拠点のやつは状況調査とかするわけですよ。そしてということで、
1:44:41	コンプトンカメラとか、場合によってはちょっと計算しますみたいでやると、具体的なその事業の方向はまさに今、
1:44:49	薬品等を使ってやるとかっていう説明をされてて、安全管理上の組織がどう、どれに該当するんでしょうか。実は44ページに書いております作業自身の安全性につきましてはこういった、
1:45:03	対応し、これまでやってきたことを考えないと、基本的には保安規定に基づく、現場の安全管理ですねそういったものをしていきますということで細かい字でポツポツ書いてますがきちんと計画をされて、
1:45:21	容量等を要員確保して、
1:45:24	やっていくとか、道具をきちんと使うよとか、訓練をしますよとか、研究しますけども、みなセンター程度の記載になるか、もう一つは、もう少し広い意味で言うとその他廃液どうなのっていうところはもう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:40	一番大江の中でも書きにしているところで、やはり我々の方で、一番弱いのはその廃液処理系、或いは既存経費制約がありますのでそこはこういった具体的な、
1:45:51	管理の方法を示した上で
1:45:55	万が一溢れたりするようなことはないですよ、或いは食費困るような範囲につきませんので
1:46:01	古泉です。
1:46:04	3期のやつ。
1:46:08	4月の環境やとあれなのかな。すっかてね、使用済み燃料革命、分離されたもの、汚染物の廃棄。
1:46:18	そうなんですかね。
1:46:35	多少は低い。
1:46:51	確かに説明としては入ってんですよね。その廃棄のやつを、
1:46:56	廃止措置に伴って発生する。
1:46:59	放射性廃棄物の廃棄について、
1:47:03	取り扱いと処理の話は説明されますので申請書として、
1:47:11	はい。
1:47:35	おっしゃいますけど、これは基本的考え方によると、使用済み燃料小幡核燃料物質の汚染の分布とその評価に関する説明書。
1:47:47	どんな関係なんでしたっけそれは関係ないですよ。
1:47:52	融通関係ない。ないです。ここは関係ないっす。二つだけ。
1:48:20	変更となんですけど、一つ、
1:48:44	通しの34ページ目、放射性気体廃棄物。
1:48:49	ガラス固化に行くものとかいかないものが、基準値があるんですけど、これはな。何か決められてるんですか。
1:49:03	研修期間こちらの3規定にそういった記載をして訪問して、
1:49:10	ホテル株じゃない子。
1:49:14	実際にこの施設側で受け入れを行う際に、こういった基準で確認してやっています。
1:49:27	説明が登場してきた理由はちょっと今うちの方でその34ページ目が登場した理由。
1:49:34	なんでしたっけ。
1:49:36	これは系統条件と関係あるんですか。
1:49:40	元の、まさに29ページの③ですと、ここを、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:49	30 ページの⑪に既存の施設でやりくりしないといけないということという、既存の施設では、どういう扱いをフロー図で簡単に示しました。
1:50:21	ひとつちょっとですけど、その回答に窮するかもしれないけど、右肩、右下 30 通す 36 ページ目で、
1:50:33	除染の対象範囲の区分っていうのがあってあると思うんですけどちょっと具体的にどういうものなのかなと思います。
1:50:43	系統除染の実施対象とするもの。
1:50:47	汚染状況調査して、
1:50:50	判断しますっていうのともそもそも対象外ですっていうことだと思うんですけども、一番最初の系統情勢の実際に町とするもので、
1:50:59	5000 円が高いと推定される。
1:51:01	工程計画、具体的な段ですかね、工事営業出向の小林です。最終の運転をやっていた際にまさに放射線レベルの高いよう会議ですとか、
1:51:14	安保鎮目両会議ですとかほぼ分離された高放射性範囲扱うもの、また、それは直接は使わないんですその途中の段階を準備したりする段階は当然レベルが高いので、そういったところは、
1:51:27	除染しましょうという、ただその汚染の形態によって例えばすすれスラジで今不溶解残渣のようなものが主たる原因となって、
1:51:38	汚染しているものについては、今第一段階で硝酸水溶液で洗い流せないで、そういう例えば一番下の部分。
1:51:46	カテゴリーにしたい商売いたします。
1:51:49	次のところにママチャリする部分は、独占状況調査に基づいてっていうのはグッて
1:52:00	大杉で汚染状況調査に基づいて、
1:52:03	調整しましょうねひずみが調整しなくてもいいよね。について、その閾値はどう、どういう考え方なんですが。
1:52:12	これ
1:52:15	既存の、
1:52:18	実際にそういう特殊放射線作業をやるバーにい当たらなければならない被ばく線量というのは、
1:52:26	手順で決まってるんで、それをクリアできるかどうかっていうのが一つ。
1:52:32	来たとしても例えばさらにはね、
1:52:35	何ていうか副主事な装備ですね、そういったものを使用しないといけないような環境下除染によって、クリアできるのであればそういったところも助成がないもんなんです。
1:52:48	はい、わかりました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:05	持っておられないようなものばかりイシイですけどちょっと質問していいですか。
1:53:18	4 ページ、31 ページ。
1:53:22	どうぞ。ちょっと一応確認をしていきたいんですけど、これどういう段階でその汚染状況調査をやってその中で共同自動車をどういうふうにやっていくかっていうのを決めていくようなところになってると思うんですけど。
1:53:39	あれ、
1:53:41	解析認可の申請等の、
1:53:44	汚染状況調査のときって廃止措置認可申請してからでないといけないような対応なのかそれとも現時点ですでに、今の廃措置認可申請の中で、この部分はできるので、
1:53:59	それをもとに、系統除染の申請を出していくっていうそういうステップになるんですかねそこがちょっと説明の中でよくわかんなかった上ですけど、いやもう、
1:54:10	提言書機構の岡林です。汚染状況調査につきまして現時点で想定できる範囲であればこれまでの活動を認められた活動の中でできるものだと考えてございます。
1:54:26	ただもう、そういう意味では申請においてはこの汚染状況調査というものを何ヶ所かを確認会いたしたいというかはその系統除染の進め方の中でこういった汚染状況調査というものも、
1:54:41	やっていきますよという枠組みの中、多い中というか全体を示し様子を示していると、そういった欠とめ方をいただければと思います。
1:54:53	何かサービスは、今の民間にない、例えばセルの壁を壊して何かやるとかそういったことまでは今、現時点では考えていないということでございます。
1:55:02	はい、ありがとうございます。はい。沼尻高というと、要するに、若干などで、検査等で何か、要するに見る必要がある部分があるかどうかですね現時点でも、これからすぐにやるような話になって、
1:55:18	経済の部分で見に行かなきゃいけない部分があるかどうかっていうようなところでちょっとご質問したんですけどそうするとあれですね、統一の局長の中でやられてる活動については、今できる範囲であって、
1:55:31	それ以上のものとか統計と女性のところに書かれるものについては、
1:55:37	あれですね認可が下位措置認可の申請でし民間降りてから、実際にはやるっていうような感じになるという理解をしておけばよろしいですね。
1:55:47	東芝機械の小林です。その理解でよろしいかと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:53	はい、ありがとうございました。
1:56:08	延長したんですけど、補助者分の説明が何か
1:56:14	ポンチ絵みたいが示せないんですかね、この系統助成で具体的にどうやるんだ。
1:56:20	ていうのは何か御中みたい。
1:56:23	今日は説明してないんですけど、認証機構ナカバヤシそのポンチ絵というのは例えば貯層があったら、うん。こんな形でっていうそういう実際の作業のプログラムの、例えばその、
1:56:35	各ページを見る限りその収益するのがあったり浸漬するのがあったり、算伴によりっていうのもあったりして、ちょっとなんかどうやるかわかんないんですけども、
1:56:49	何か女性のイメージみたいな、だったところ、どうやるのかみたいな。
1:56:55	ポンチ絵とかですね、あと浅部調査も、どうやってんだっていう、何か一本イメージみたいとか。
1:57:04	やはり等、わかりやすいんじゃないかなと思ったんですけどそういったものはないんでしょうか。これ認証局の公共施設そういった資料及びイメージ。多分その、
1:57:17	様々なパターンがあるかもしれない。そうするとそれを全部表現する絵はちょっとつくれないかもしれ、イメージとして、大体こんな感じなんですっていうのが1、1枚で。
1:57:29	ですから、系統除染のイメージっていうのがあると思います。
1:57:34	ちょっといいかなと思います。
1:57:37	なんで系統情報がこんな感じで助成して、こんな感じで汚染分布調査意見なんかさ、測ってみたいのはあって、
1:57:48	それで終わりなんですよねその作業としては、技術課ね。
1:57:54	ちょっとそういうのも何か1枚。
1:57:57	やっていただいて、それは別に确实あんまり説明してもいいかもしれないんですけど、一応そういうのがちょっと役立つだと思ったもんですから。はい。ちょっとお願いします。
1:58:16	その他よろしいでしょうか。すいません。学科モモセです。
1:58:21	すいません。聞こえてますでしょうか。10ページ、1に重なるんですけどちょっと確認させてください。
1:58:29	衛藤医師の方から廃止措置認可計画の認可があつてからなのかわかんないですけど、少なくとも第一段階入っていくって話だったんですけど、仮にこの第一段階ってのが何かこう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:42	大きいものとした上で、廃措置計画以外に、保安規定であるとか、検討チームかけるであるとかその他の準備が何かあるとかで、他にどんなものが、
1:58:57	手続き的なものとか準備とかがあって、それで第一段階スタートしていくという印象。そういう感じを持ったらよろしいでしょうか。他にどんな手続きとかもあるんでしょうか。
1:59:15	定義出向ナカバヤシです。基本的な本規程も一部、例えば組織、役割といえますか、そういったものを記載で修正する部分に変更する部分が出ていくと思います。
1:59:34	それは工程洗浄を完了して現在の保安規定に工程洗浄と、どういう管理のもと進めていくかというような記載があるので、それが終了したら削るという申請を考えてございますがその際、
1:59:47	今度やる系統除染はどういうふうにするか等の保安規定レベルでの約束事をそういったものは返ってくるかなと思います。
1:59:58	ありがとうございますそうするとやっぱ保安規定と廃止措置計画のご申請があって、委員会になってという形と考えればよろしいんでしょうかね。その上ですいません。
2:00:11	開催中でなかなかこう、
2:00:14	除染を廃止措置計画前にやったらいいのはいけないのかなって議論も以前あって、普通にあれなんですよね。解体が不可逆的の反応がどうこうってというような話だったと思うんですけど。
2:00:27	そうすると、その青くなってる第一段階が始まるのっていうのが、下準備的な感じとしては、普通の調査とかを除いた青いところという意味で言うと、
2:00:42	何年後とかいうイメージを持ったらよろしいんでしょうか。
2:00:47	営業所機構の小林さん、特に現時点で詳細な工程表というまではまだを作ってございませんが感覚としてまず3年程度はやってみてそこでどれくらいその成果が出るかというのをレビューした上で、
2:01:03	あとは元の方に述べさせていただきましたようにいろんな段階があるんですけどいろんな設備ごとにおそらくどんどん段階がばらけてくると思います。そういったところをマネジメントをしていくことになると思います。
2:01:18	そういう意味ではまず、まだ全体的な
2:01:24	コンセンサスしたものではないですが3年程度はまずやってみるのかなと考えています。
2:01:32	わかりました相場感として伺いましたありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:53	おっしゃるけど搬出計画との関係だとはさっき話し合いもありますけど全部調査は普通にできるわけですよ。1%を急と引っ張ってるわけだから、何ができないかっていうと、まさに、
2:02:08	先ほど私が申し上げた通り、具体的な汚染の除去と方法と安全管理上措置については認可取られてない。
2:02:17	従ってその
2:02:18	汚染の分布等を評価した上でっていうのは、あるので、汚染分布事象調査が通じ、
2:02:25	できますと現在の活動で、ただその具体的な汚染の除去の方法と安全管理上そっちはまだ今後出すと言っていてそれも認可取ってないんで、
2:02:35	ということでもいいですよ、段取りとしては。
2:02:39	それが、先ほど大杉喜多これらで開設計画と保安規定とダブる申請ですよ。当時申請して同日付で認可するみたいなスケジュール感。
2:02:49	なんですか。ですよ。
2:02:50	これは原子力機構の個室基本的にはもう当時認可マターでございます。
2:02:58	同時申請になるかどうかちょっと示させていただきたいと思います。
2:03:04	うちは必要はないと思いますけどね。
2:03:10	いずれにしてもその両々方法認可ということで、
2:03:15	先ほどの、
2:03:18	系統助成に入った時の公物管理目標値も認可されたり、それやれないのでってことです。
2:03:24	はい。
2:03:25	わかりました。
2:03:36	よろしいでしょうか。私からもいいですか。規制庁の尾山です。37 ページの、
2:03:47	区分のところで、系統構成の改造を行わない、行わずに、上申できる今限られている場所は、
2:03:59	調査だけっていうことで、
2:04:03	順番に 19 ページで系統除染でこういうものですよって書いてあって、数を行わずに、定期状態にするものって書いてあるんですけど。
2:04:11	その改造が該当しないといけないものについては、系統除染っていう部分の中では、
2:04:18	何か交代を行わずに次系統除染じゃない、次のステップで何か買い込ん改定を行うみたいなそういうイメージですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:28	李助教ナカバヤシす基本的にはおっしゃる通り例えば配管の次替えをしないと、大規模な配管の追加をしないと液が回せないとかそういった話になるともうほぼ解体フェーズ、
2:04:40	なのかなと考えてございます。
2:04:47	もう除染は諦めて、
2:04:50	そうですね系統除染は諦めてという形です女性の
2:04:58	解体中にもできますし、あとは使いたい後っていうオプションもありますのでそれは結局目的が何かによるんですけども、系統除染が終わった後の助成というのはおそらく、
2:05:09	代替の部分は、
2:05:11	被ばくの低減ではなくて、処分、
2:05:15	見据えた助成になると思います。ただそれは本当にやったほうが合理的かどうかという、詳細に計画を立てていかないと、ちょっと今の時点ではどっちがいいとも言いきれないなと考えてございます。
2:05:32	さっきは井内湊が少しこうんと、百均なっているっていうことだったんですけど、
2:05:41	令和 11 年度に選りルーター稼動してからもう一応十年間の余裕をみますってことなんですけど、この理由は何でなんでしょうか。
2:05:55	営業職等の課題です。まず
2:05:58	労働者数の範囲につきましては、何もしなくても、どうしても施設の構造上といいますかを、
2:06:06	大津プロセス上発生する駅が微妙にあるっていうのは前提としてあります。その上で例えばR11 年度に選べるTFを理解する予定。100%確実に、
2:06:18	できますっていう話になれば、その 11 年度ぎりぎりに例えば、
2:06:24	既存の貯槽の満杯ぎりぎりまでいっても、
2:06:29	政府、
2:06:30	になるかもしれませんが、その前にちょっと遅れたらどうだっけ。そうすると
2:06:36	その時点で系統女性辞めても、他からいろいろ益が出てきたやつをどこかでキャッチしないといけないっていうようなことになると、それが終了であれば何とかやりくりできるのかもしれませんがやはりそういうのはリスクだろうと。
2:06:48	エリアBチーム自身は我々、11 年度鵜飼目指して頑張っているものの、やはりまだ不確かさがあって、何がしかそういったリスクマネジメントといえますかそういったものを考慮した上で 10 年程度余裕を持てば、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:07:03	リカバリー可能ではないかと。そういった意味では、どっちかっていうリスクマネジメント保険のような形で 10 年間、
2:07:11	原子力施設等で何かリカバリーするといっても 1 年で十分とか 2 年で十分とはなかなか言い切れないのがあるんでちょっとかなり余裕は持ってるんですが 10 年ぐらい持てればリカバリーできるんじゃないかと、そういった程度の内容でございます。
2:07:26	そうします。わかりましたそのLWTFの処理量自体が、
2:07:32	そう、あれですね系統除染或いはその定常的な管理の処理量に対して、かなりちょ、下回っているとかそういうことではなくて、あくまでその不確実性、
2:07:46	どこまで見るかっていうことで一応 10 年でされたってことですか。はい、原子力をナカバヤシておっしゃる通りですねLWTFの運転要領自体はそれなりの、
2:07:55	もともと最初に運転時代に設計されて、計画されてるものですねそれなりの処理能力を持っていますので、動いてしまえば、比較的。
2:08:06	女性会議機能、融通はきくのかなと思ってます。
2:08:16	廃棄体化した後のその答えの、
2:08:20	置き場所ってところの制約特に換気の時にしなくても大丈夫なんです。
2:08:27	ちょっと、原子力の場合その辺りは、いろいろ懸念事項は、あるにはあるんですけどそれは後程ベツツのところはどういったところかなと思います。
2:08:41	ちょっとすぐには、
2:08:46	ただこの 1 を受け先がある、セメント固化体を受け入れることができる、廃棄、既存の廃棄物貯蔵施設というものがございますので、
2:09:03	まだですけどその御申請も他の
2:09:07	だ何なんですかねっていうその、
2:09:10	気中度んのか、
2:09:13	おそらくその何ていうんですかね
2:09:17	管理、多分そういう方針であるってということだけを確認するのかな。
2:09:23	というのはその何ていうんでしょうか。もう、
2:09:26	様子だけ確認とって後はもう個別にどんだん判断していくわけですよ。この、
2:09:31	時には、この退屈でこの時には汚染町状況調査してこの数字だから、刷りでこの汚染状況調査は使えなかったもしないでこうするとかって言え、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:44	何かのパターンは認可とって、この方針でやりますっていうことで
2:09:50	何か文献ってなんだから、何を確認しないといけないのかっていう。
2:09:55	総合、
2:09:57	確認するとこの尻がないわけですよっていうそう。
2:10:02	だからそのやり方、やり方とあとその最低限先ほどもありましたけど、
2:10:11	発生する廃液んだとか。
2:10:14	何か最終的なものに影響を及ぼさないか触れないのかとか、そういうのを生かしてやってるのか。
2:10:22	ていうのは、見といた方がいいのかもしないんだけど、何か論点って何なのかなっていう、何か何なんですかね。
2:10:31	AAの貯槽がクリサキあるんですけど、原子力機構タカハシの基本的な方針でその方針に基づいて当面実施するものに対して何かこう、
2:10:42	とりわけリスクを高めるですとか安全上の懸念がないということがご確認いただければ、まずはいいのかなと。その中にその廃液マネジメントの話も当然、前提として入ってくると。
2:10:54	ということから、我々事業者としての位置付けとしてはまず廃止措置が、一方、工程洗浄が終わって進んだという旗を上げるという意味ではそういう事業場のマイルストーンとしては、結構大きく、
2:11:10	ただ何かそのリスクを伴う作業をやるわけではないわけですよ。
2:11:19	ある程度実現化して、早く進んだ方がいいわけですよ。
2:11:24	多分、
2:11:27	追加で
2:11:29	並木から、
2:11:33	安全対策が追加されることはないわけですよ。この、
2:11:37	設備が追加されたとかっていうのは、
2:11:40	受けとめ方がいろいろあるかもしれないんですけど、ないので、設備の追加もありますし、むしろ今まで安全対策が必要だと先ほどありました水素ガスを使う設備とかそういうのを撤去していきますので逆にリスクは減っていく方向になるかと思えます。
2:12:14	工事所長、深田です。38 ページ 47 ページでございます。
2:12:21	まず次週でございます。8 日間日にセットしてきつつあります。こちらの方の先ほど冒頭にありましたように、最終決算の工程洗浄をやって、いよいよ最終結果をお示しできるということでこの日に、こちらはですね。
2:12:37	あと 20 日木津川市生産施設の、こちらの申請マターでございますが、説明を継続させていただきたいと思えます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:12:47	こちらの冒頭をご依頼がありまして、バランスの方の不良料飲御説明ばり相場洋行の方を、
2:12:55	にればと思っています。時間がかかったとしても次の15の週には
2:13:05	3号炉、試験の速報等も含めてご報告ということでMillstoneでございます。15日他の県といたしましては製造施設まだちょっと次。
2:13:16	いろいろ説明なかなか1回では足りないかなと思って15日に行ってまして。
2:13:23	見ます。
2:13:25	あと系統除染の方も本日いただきました追加の資料等も含めてちょっと15日またフォローアップしたいと思います。
2:13:35	その他のところにありますこちらの例の年度ごとの廃止措置計画の進捗の全体像、こちらの資料お出しする予定でございます。
2:13:48	22年珍重の放出管理目標値の見直しをもう一度フォローアップという形でさせていただきます。こちらの方は他にいい。
2:13:59	マイナスと思ってませんがそれまでの議論に基づいてフォローアップが必要な場合は、安定的に入れさせていただきたいと思います。29日も同様でございます。報告したもののフォロー、
2:14:12	といったところを考えてございます。以上です。
2:14:22	全体として、
2:14:25	これはまだ何かうん。
2:14:31	どっかありますか。
2:14:35	ございません。
2:14:42	この内容ですので、本日のメンバーは以上で終了したいと思います。どうも、ありがとうございました。ありがとうございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。